

デジタルサントリーホールを楽しむ(5)
—ライブ配信(5)—

1. 始めに

サントリーホールがライブ配信を行うとのアナウンスがありました。

<https://www.suntory.co.jp/news/article/sh0344.html>

前報(4)に引き続いてデジタルサントリーホール配信プログラムを視聴しました。

2. デジタルサントリーホール配信プログラム

今回は、サントリーホールでオルガン ZANMAI! から 3 公演を視聴しました。

[サントリーホールオルガン三昧プログラム](#)

公演 3：呼吸するオルガン

2021年8月7日(土) 13:30 開演 (13:00 開場、14:30 終演予定)

会場 大ホール

出演

オルガン：勝山雅世

曲目

J. S. バッハ：前奏曲とフーガ ホ短調 BWV 548

西村 朗：オルガンのための前奏曲『焰の幻影』

近藤岳：『花の歌（献華偈）』

リスト：コラール「わたしたちへ、救いを願う人々へ」による幻想曲とフーガ S. 259 ほか

公演 6：大人のためのオルガンの時間

2021年8月7日(土) 17:15 開始 (17:00 開場、18:00 終了予定)

会場 ブルーローズ (小ホール)

内容

『オルガンビルダーが語る、オルガンができるまで』

国内で数多くのオルガンの設置・整備に携わるオルガンビルダーが、自作のポジティブオルガンを例に、オルガンができるまでの過程をお話しします。

お話：木村秀樹 (オルガンビルダー) / 田中泰 (クラシックソムリエ)

公演 7：讃えるオルガン

2021年8月7日(土) 18:30 開演 (18:00 開場、19:30 終演予定)

会場 大ホール

出演

オルガン：近藤岳

曲目

トゥルヌミール：「パラフレーズ・カリヨン」

フランク：オルガンのための3つのコラールより 第3番 イ短調

ラングレ：『グレゴリオ聖歌による3つのパラフレーズ』作品5より 第3番 神への感謝の賛歌「テ・デウム」ほか

受信はいつもの音楽用PCで、Sonica DACに入力します。なお、今回は、再生経路のパッシブアテネーターTruPhaseにヴォリュームアキュライザーVRA-7を適用しています。

3. デジタルサントリーホール視聴の経過

前回同様の手順で受信します。配信はYouTubeではなく、オリジナルの動画配信プラットフォーム「SmartSTREAM」を使用した配信とのこと。

指定された受信手順ですぐにサイトに入れ、Sonica DACの表示は48KHzとなっています。

公演3は、バッハの前奏曲とフーガ、西村朗と近藤岳の作品、リストのコラールという選曲です。



バッハの前奏曲とフーガは、TruPhaseにVRA-7を適用していることから、これまでよりオルガンの響きがよりリアルになっています。

西村朗の作品は現代曲らしい展開です。

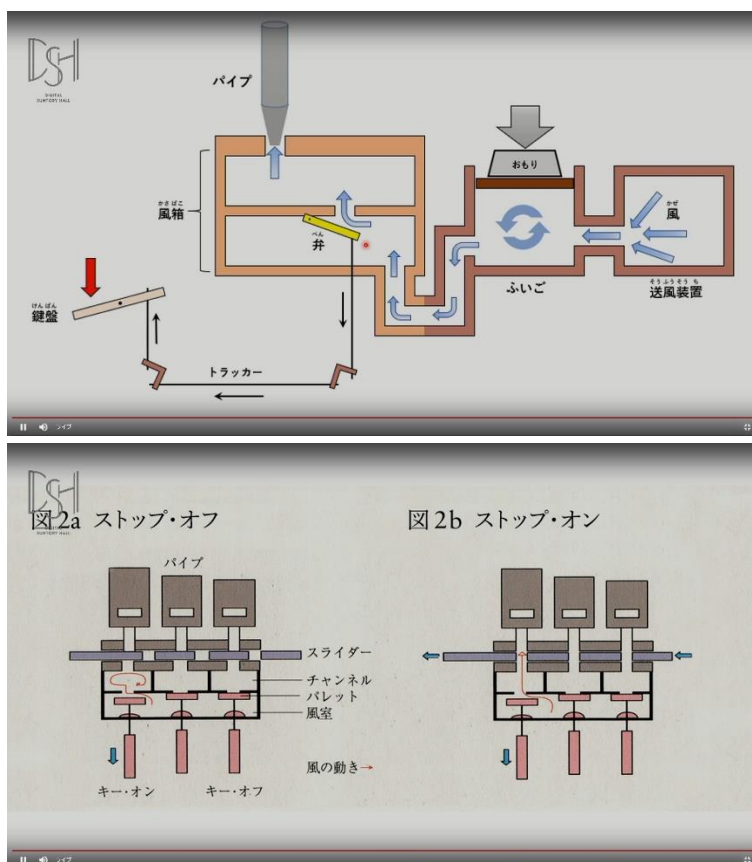
近藤岳の作品は、築地本願寺からの委嘱曲で宗教曲らしい幻想的な曲です。

リストのオルガン曲は初めて聴くものです。そのコラールは、長時間の大作で、笛のようなきらびやかな高音があったり、ペダルだけのパッセージがあったり、終盤に向けて両手両足がフル回転の盛り上がりを見せます。

公演6は、演奏ではなく、オルガンビルダーが、ポジティブオルガンを例にオルガンの制作過程を説明するものです。

最初にオルガンの原理図の説明から始まり、制作用の図面、そして製作過程が材料の選

定から加工、組み立てまでの解説がありました。オルガンの機構、機能から制作の具体的な工程まで勉強になりました。



公演7は、次のような曲が演奏されました。

グリニ：『オルガン曲集第1巻』より 賛歌「めでたし、海の星よ」

フランク：『3つのコラール』より 第3番 イ短調

トゥルヌミール：『5つの即興曲』より 第1曲「小さなラブソディー」

トゥルヌミール：『神秘的オルガン』より「聖霊降臨節」作品57-第35番「聖母被昇天」より 第5曲「パラフレーズ・カリヨン」

近藤岳：「サルヴェ・レジーナ」によるパラフレーズ

ラングレ：『中世組曲』より 第4曲「メディタシオン（聖体拝領）」

ラングレ：『グレゴリオ聖歌による3つのパラフレーズ』作品5より 第3曲 神への感謝の賛歌「テ・デウム」

初めて聴く曲がほとんどで、オルガン曲の幅広いことを認識できました。

ここでもVRA-7の効果で、これまでより格段に生で聴くオルガンの音色に近づいてきました。

4. まとめ

デジタルサントリーホールのアーカイブ配信が視聴可能でした。また、オルガン

の機構、機能から制作の具体的な工程までの解説は勉強になりました。

以上